

国自審 5 1 6 号
国自環 5 9 号
平成 2 8 年 6 月 2 4 日

スズキ株式会社
代表取締役社長 鈴木 俊宏 殿

国土交通大臣 石井 啓一

燃費・排出ガス試験に係る不正行為への対応について

平成 2 8 年 4 月 2 0 日、スズキに対し、「三菱自動車工業の排出ガス・燃費試験の不正事案を受けた国内実態調査について」により実態調査を指示したところ、スズキより、平成 2 2 年以降計 2 6 車種について、法令で定められた「惰行法」と異なる不正な方法を用いて走行抵抗値を測定していたこと、この不正行為により、諸元表に記載された燃費値に影響はなかったこと等について報告があった。

国土交通省としては、今後、スズキからの報告内容全般について、一部車種の実測を行うなど、検証を行うこととする。

今回の不正行為は、ユーザーに大きな不信感を与え、国の自動車審査の信頼性を損ない、我が国の自動車産業への信頼を傷つけるものであって、大変遺憾である。

については、全社を挙げて再発防止のための具体的な取り組みを速やかに進めるとともに、国土交通省に対し、その進捗状況について、当面四半期毎に報告を行うよう求める。

なお、スズキに対しては、今後の型式指定の審査に当たり、当分の間、事前事後のチェックを他社に比べ厳格化するので、念のため申し添える。